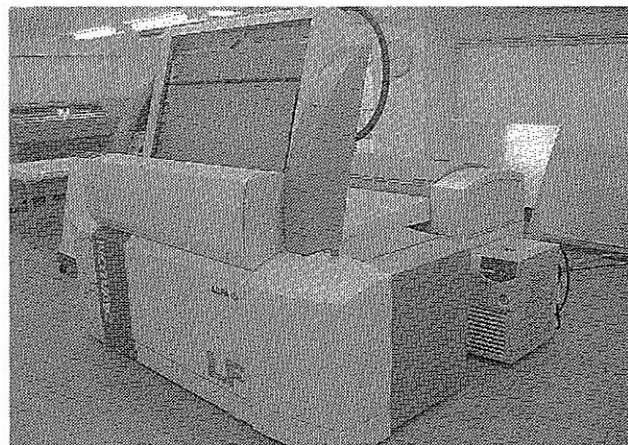


「環境保護印刷とケミカルレスCTP」テーマに

日本アグファ・ゲバルト㈱(フィリックス・ステューダー社長)は五月二十四日、さいたま市の渡辺美術印刷㈱で「環境保護印刷とケミカルレスCTP」をテーマにオープンハウスを開催し、ケミカルレスプレート「アズーラ」と菊全判サームルCTPシステム「アパロンLF X T-アズーラ」を導入した渡辺美術印刷㈱、「アズーラ」と四六半載サームルCTPシステム「アセントS」を導入した協進印刷の環境対応、さらに高精細印刷の取り組みについて発表した。

ケミカルレスプレート プレートとして大きな注目。

「アズーラ」はdrupa を浴び、日本では昨年四月2004で発表され、同年に「アズーラ」が導入され、十二月に発売が開始され、全世界で一〇〇社以上のた。世界初のケミカルレス ユーザーから支持されている。



渡辺美術印刷に導入された「アパロンLF X T-アズーラ」



江森社長



関根社長

「アズーラ」の特徴は、①現像液を使用しない環境に優しいプレートの現像液管理が不要な簡単な維持・管理と安定生産③検版でき、印刷工程にも負担をかける④耐刷一〇万枚、UV適正あり—など。

なお、プロセスレスプレートと比較されるが、「アズーラ」は非面線部を洗い落とし、版面を保護するためにクリーニングユニットを使用している点で大きな違いがある。

日本アグファ

環境対応と高精細印刷の取り組みを発表

「アパロンLF X T-アズーラ」の導入の経緯は、三年前から大手印刷会社の置面積も省スペースであることを知り、ケミカルレスプレート「アズーラ」に逆にも版がほとんど出ない状況になっている。

「アパロンLF X T-アズーラ」の導入は、X MスクリーニングにはX Mスクリーニング「アフリマ」を核にし、大判フォアマット対応両面インクジェットプリンター「グランドシェルパマチック」と「アフリマ」の本格的な活用と環境に対するさらなる配慮を行い、同社の掲げる

「もっと美しく、よりリアルに」をさらに進めていくとしている。

性の上や原価削減が特にクロースアップされるが、今後スクリーニング技術からCTP出力までスムーズにいくのか不安も多かったが、アグファがPDFワークフローシステム「アフリマ」を核にし、大判フォアマット対応両面インクジェットプリンター「グランドシェルパマチック」と「アフリマ」の本格的な活用と環境に対するさらなる配慮を行い、同社の掲げる

「アパロンLF X T-アズーラ」の導入の経緯は、三年前から大手印刷会社の置面積も省スペースであることを知り、ケミカルレスプレート「アズーラ」に逆にも版がほとんど出ない状況になっている。

渡辺美術印刷の事例

渡辺美術印刷(さいたま市桜区南元宿二ノ二四)の取り組みについては「アナログからデジタル化のメリットと今後の強み」と題し、関根社長がケミカルレスCTPの効果とCTPの検討に入り、C T Pのメリットとして生産

「アパロンLF X T-アズーラ」の導入は、X MスクリーニングにはX Mスクリーニング「アフリマ」を核にし、大判フォアマット対応両面インクジェットプリンター「グランドシェルパマチック」と「アフリマ」の本格的な活用と環境に対するさらなる配慮を行い、同社の掲げる

渡辺美術印刷／協進印刷

「アフリマ」の本格的な活用と環境に対するさらなる配慮を行い、同社の掲げる